



注目のリリース: Google Cloud Search

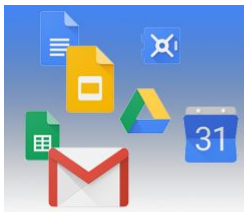
Google 検索の先端技術を G Suite でも活用

- 自分のニーズに合う、よりスマートな検索機能
- 職場の情報分散を解消
- G Suite への導入



場所を選ばず作業

Android 搭載スマートフォンでの Google ドライブ ファイルの検索がさらに簡単に



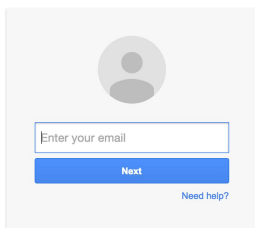
シンプルな使い勝手

Google スライドに Google ドライブから動画を挿入

Google スプレッドシートのセル範囲へのリンク

Google スプレッドシートでテキストの回転や会計の表示形式などをサポート

ハングアウトの未読メッセージを示す新インジケーター



ビジネス対応

管理対象に含まれないユーザー用の新しい移行ツールで、アカウントの競合を解決

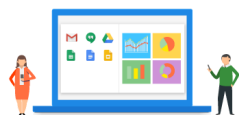
Google ドキュメント エディタのカスタム テンプレート进行管理するための新しい管理者権限

2 段階認証プロセスのスマートフォン プロンプトがより便利に

パスワードで保護されたファイルを Google ドライブでプレビュー

Google Keep が G Suite のコアサービスに加わり、管理と Google ドキュメントからのアクセスが可能に

古い Android 搭載端末をご使用の場合も、Google Play からビジネスツールへのアクセスが可能に



G Suite についてのその他のお知らせ

Transformation Gallery で業務処理を自動化するヒントを探す

Google Cloud Connect (GCC) : G Suite 管理者のコミュニティ

YouTube の G Suite Show

G Suite 管理者向けの最新情報の動画

より良いニュースレターをお届けできるよう、ご意見をお聞かせください。

- G Suite チーム、2017 年 3 月 1 日

注目のリリース: Google Cloud Search

Google 検索の先端技術を G Suite でも活用

リリース日: 2017 年 2 月 7 日

組織で共有

[- トップへ戻る -](#)

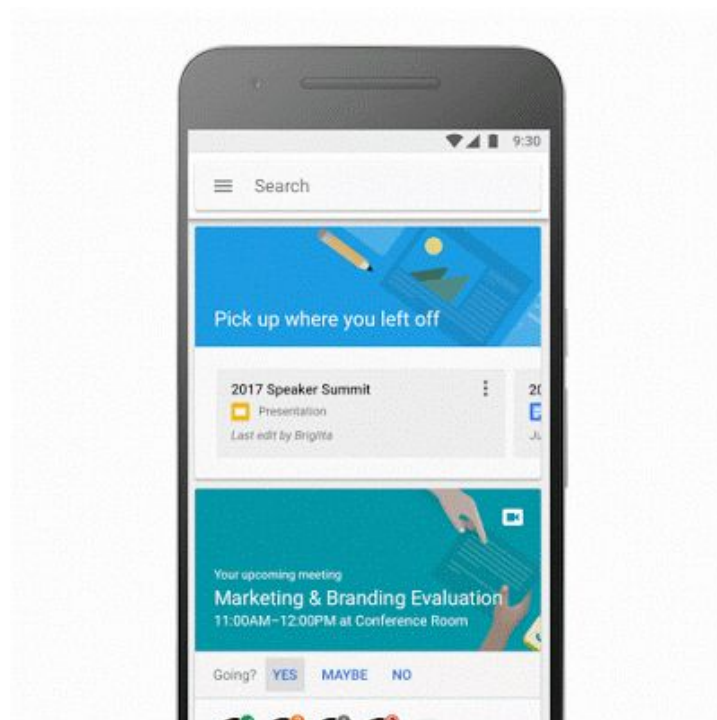
最新情報: 毎日さまざまな国の人々が Google 検索を使って世界中の情報にアクセスしており、年間の総検索回数は、実に 1 兆回を超えています。Google では、機械学習などの新しいクラウドベースのテクノロジーをウェブ検索エンジンに導入していくなかで、同じ技術を使って企業の内部情報検索をサポートしていきたいと考えています。そこで 2 月にご紹介したのが、人工知能を活用して G Suite 全体の横断的な検索を可能にする新サービス、Google Cloud Search (旧称 Springboard) です。

多くの企業がデータや業務基盤をクラウドに移行させているなか、社内情報の分類は複雑さを増しています。その結果、職場には複数のシステムが混在し、膨大な量のデータが、メール、ドキュメント、スプレッドシート、スライド、フォーム、社内サイトなどのさまざまな形式で保管されているのが現状です。米マッキンゼー社の調査 (英語) によると、実際、平均的な知識の労働者は 1 週間の勤務時間の約 20% を情報の検索や集約に費やしているということです。つまり、仕事に必要な情報を見つける過程に、多くの時間が費やされているのです。

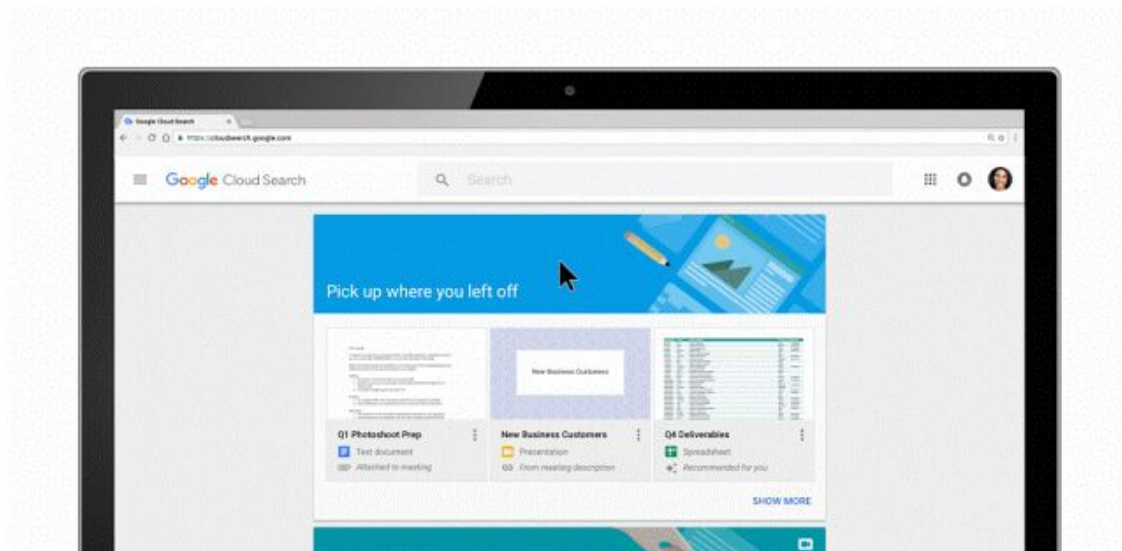
自分のニーズに合う、よりスマートな検索機能

Cloud Search を使うことで、Google 検索と人工知能の大きな利点が G Suite にもたらされます。このサービスは、横断的な検索と先回りした情報提供を行うことで、1 日を通して従業員をサポートします。

たとえば、スマートフォンやノートパソコンで Cloud Search アプリを開くと、自分の予定に関連する情報が「アシストカード」と呼ばれるシンプルなカードにまとまって表示されるため、常に状況ややるべきことを把握できます。アシストカードを活用することで、今までにない方法で、適切な情報をタイムリーに得ることができます。このカードには Google の人工知能テクノロジーが組み込まれているため、次の会議の情報や、目を通しておくべきファイルを自動的に表示し、ユーザーが事前に準備しておけるようサポートできます。適切な情報が適切なタイミングで提供されるよう設計されているため、1 日の仕事をより効率的に進めることができます。Google では引き続き、どのように情報を提供するのが最も有用であるかを検討し、Cloud Search のアシストカードの種類を増やしていく予定です。



情報の検索だけでなく、会社のディレクトリ リストからユーザーを検索することもできます。同僚の連絡先情報とともに、その人と一緒に参加する会議などの予定や、共有しているファイルが表示されます。その画面から、メールを送信するか、電話するか、ハングアウトを開始するかをタップ 1 つで選択することもできます。



企業にとって機密の保護は最優先事項です。Cloud Search には G Suite での共有ファイルへのアクセス権が適用されるため、ユーザーが検索できるのは、自らがアクセス権を持つファイルのみです。つまり、休暇規定のような社内リソースは組織内の全員が閲覧できますが、チーム プロジェクトのデータにはそのチーム内のユーザーのみが、個人の予定リストには本人のみがアクセスできます。

職場の情報分散を解消

昨夏の早期導入プログラムの開始以来、複数の企業が Cloud Search を使うことで情報のサイロ化を解決し、以前よりスムーズに情報にアクセスできるようになりました。世界的メーカーに ERP ソリューションを提供する QAD は、企業における財務、サプライ チェーン、ビジネス インテリジェンスなどの管理をサポートしています。戦略的な経営判断を下すためには情報が必要ですが、ドキュメントを精査する時間は限られています。そこで QAD では、調査に Cloud Search を活用しています。

「QAD での仕事はスピードがものを言います。そのため、俊敏性、柔軟性、シームレスな情報アクセスを提供するテクノロジーを求めていましたが、Cloud Search はまさにそれを実現するツールです。複数の情報システムに分散していたデータに、効果的にアクセスできるようになりました。しかも IT 部門への負荷もほとんどかかりません」と IT アーキテクチャ担当ディレクターの Scott Lawrence Lawson 氏は言います。

G Suite への導入

Cloud Search（英語）は、G Suite Business および G Suite Enterprise エディションをご利用のお客様を対象に展開されています。さらに今後、サードパーティ アプリケーションとの統合機能などもサポートすることで、G Suite 以外のシステムにあるデータも最大限に活用できるよう、Cloud Search のサービスを強化していきます。

組織で Cloud Search を有効にすると、cloudsearch.google.com から Cloud Search にアクセスできるようになります。

Cloud Search について詳しくは、下記のヘルプセンターをご覧ください。

- [Cloud Search 管理者ヘルプセンター](#)
- [Cloud Search ユーザー ヘルプセンター](#)
- [Cloud Search ラーニング センター（英語）](#)
- [Cloud Search サービスのページ（英語）](#)

場所を選ばず作業

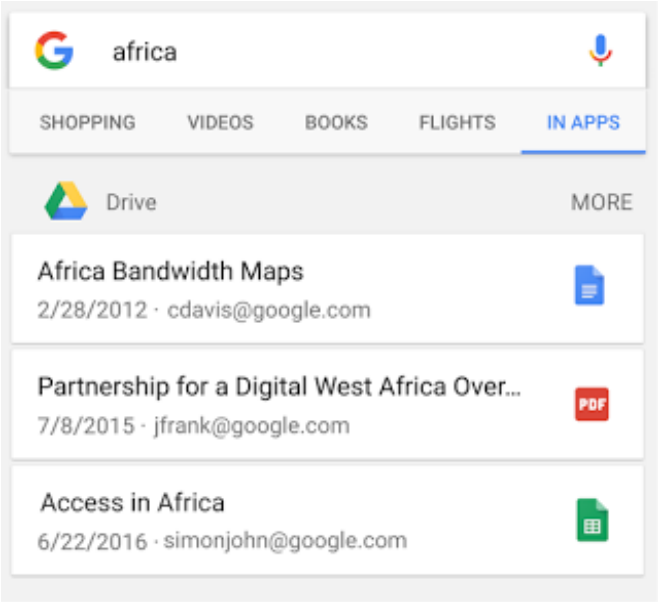
Android 搭載スマートフォンでの Google ドライブ ファイルの検索がさらに簡単に

リリース日: 2017 年 2 月 23 日

 組織で共有

[- トップへ戻る -](#)

最新情報: いつでもどこでも必要なときに、Google ドライブ ファイルをより簡単に検索できるようになりました。今後、ドライブのファイルやフォルダは [Firebase App Indexing](#) を通じてインデックスに登録され、Android 搭載スマートフォンで [Google アプリ](#) を使用して検索すると検索結果に表示されるようになります。検索キーワードを入力して [アプリ内] タブをタップすると、関連するすべてのドライブ ファイルが表示されます。それらのファイルを選択すると、適切なアプリでファイルが開きます。



Google Play ストアから最新バージョンの [Android 版ドライブ アプリ](#)をダウンロードしてください。

シンプルな使い勝手

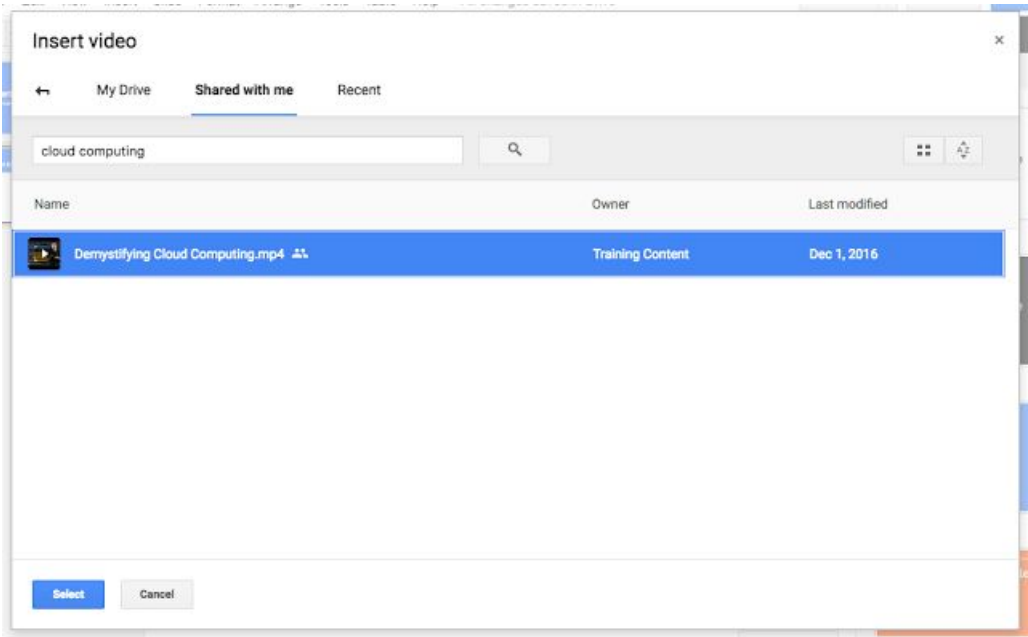
Google スライドに Google ドライブから動画を挿入

リリース日: 2017 年 2 月 8 日

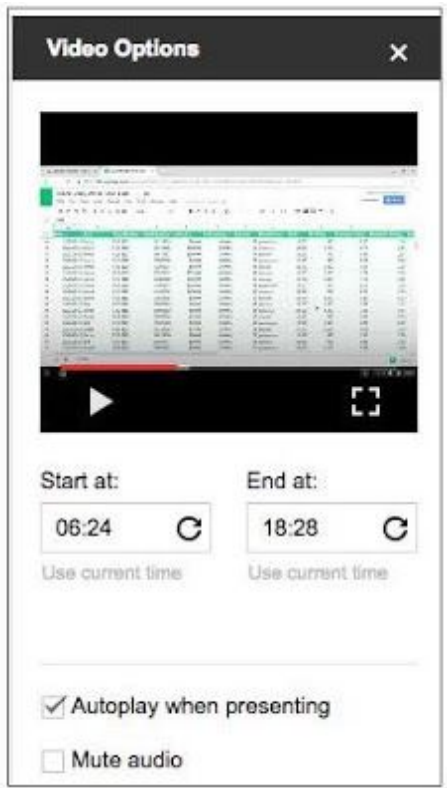
 組織で共有

[- トップへ戻る -](#)

最新情報: YouTube の動画だけでなく、Google ドライブの動画も Google スライドに挿入し、再生できるようになりました。



ドライブにある動画をプレゼンテーションに追加すると、開始時刻と終了時刻、プレゼンテーション中に自動再生するかどうか、ミュートするか音声付きで再生するかを選択できます。動画を右クリックし、[動画オプション] を選択するとこれらの設定を行えます。



プレゼンテーションを表示しているユーザーに、埋め込まれた動画を閲覧する権限がない場合は、アクセス権限をリクエストするメッセージが表示されます。

なお、スライドに挿入されたドライブの動画について、再生はウェブとモバイルのどちらでも行えますが、挿入はウェブアプリケーションからのみ行えます。

詳しくは、[ヘルプセンター](#)をご覧ください。

Google スプレッドシートのセル範囲へのリンク

リリース日: 2017 年 2 月 13 日

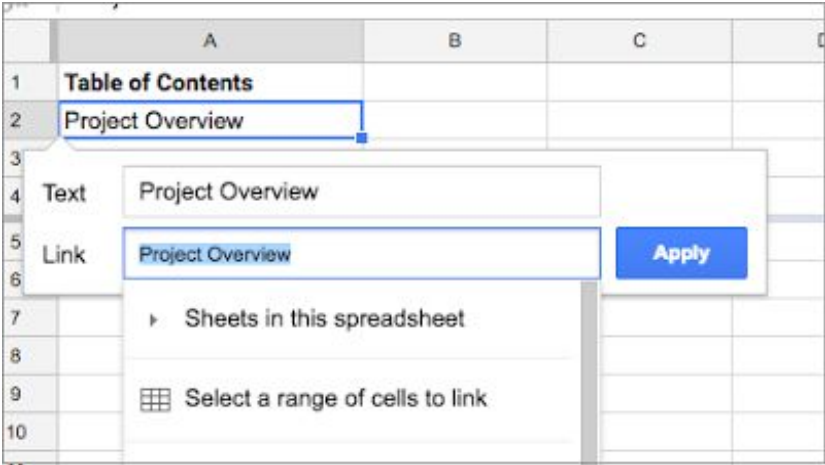
 組織で共有

- [トップへ戻る](#) -

最新情報: サイズが大きく複雑なスプレッドシート内を移動するのは大変な作業です。そこでこのたび、ウェブ上の Google スプレッドシート内の特定のセル範囲にリンクできる機能が導入されました。

この新機能を使用すると、スプレッドシートに「目次」を作成して、他のユーザーをスプレッドシート内の特定のコンテンツに誘導することができます。他のアプリケーションからスプレッドシートを読み込んだときにもリンクが保持されます。

スプレッドシート内のセルにリンクするには、[挿入]>[リンク]>[リンクを追加するセルの範囲を選択します]をクリックし、目的のセル範囲を入力またはハイライト表示します。



詳しくは、[ヘルプセンター](#)をご覧ください。

Google スプレッドシートでテキストの回転や会計の表示形式などをサポート

リリース日: 2017 年 2 月 22 日

 組織で共有

- [トップへ戻る](#) -

最新情報: Google では、お客様の業務上のニーズに十分対応できるよう Google スプレッドシートの改良を続けています。その一環として、ウェブ版、Android 版、iOS 版のスプレッドシートについてご要望をいただいております、企業向けの機能をいくつか導入しました。

テキストの回転
スプレッドシートの [表示形式]>[テキストの回転] で、セル内のテキストを回転できるようになりました。この機能は長い見出しタイトルを狭い列に表示したい場合や、1 つの画面により多くのテキストを表示したい場合に便利です。

	9/5	9/6	9/7	9/8
	MONDAY	TUESDAY	WEDNESDAY	THURSDAY
Meeting	Y	N	N	Y
Conference	N	N	Y	Y

会計の表示形式
[表示形式]>[数値]>[会計] で数値の通貨記号を揃えて表示できるようになりました。こうすると、予算案、経費報告書、その他金額の記載されたスプレッドシートが読みやすくなります。また、より簡単にデータを確認、分析できるよう、数値、小数点、連続する文字を揃えて表示する方法も改良されました。

	A	B
1	Quarter	Budget
2	Q1	\$ 900.00
3	Q2	\$ 1,100.00
4	Q3	\$ 2,500.00
5	Q4	\$ 400.00

枠線のスタイルを追加

スプレッドシートに新しい枠線のスタイルが追加されました。ツールバー>[枠線]>[枠線のスタイル] から、賃借対照表などの財務諸表でよく使われるさまざまな太さの枠線や二重の枠線などを選択できるようになりました。

モバイル版へのその他の改善点

上記の機能のほかにも、モバイルアプリに以下の改良が行われました。

- Android 版スプレッドシート アプリでのマウスの使用に対応
- Android 版スプレッドシート アプリで既存のカスタム色を表示、選択できる
- Android 版と iOS 版のスプレッドシート アプリで行や列をドラッグ&ドロップできる
- iOS 版スプレッドシート アプリで、[データ探索] を使用すると表示形式の候補が表示される

詳しくは、ヘルプセンターの下記の記事をご覧ください。

- [ヘルプセンター: スプレッドシートの編集と表示形式の設定](#)
- [ヘルプセンター: スプレッドシートで数値の表示形式を設定する](#)
- [ヘルプセンター: スプレッドシートの行、列、セルを編集する](#)
- [ヘルプセンター: スプレッドシートでグラフと分析情報の候補を表示、使用する](#)

ハングアウトの未読メッセージを示す新インジケータで、最後に読んだメッセージまでジャンプ

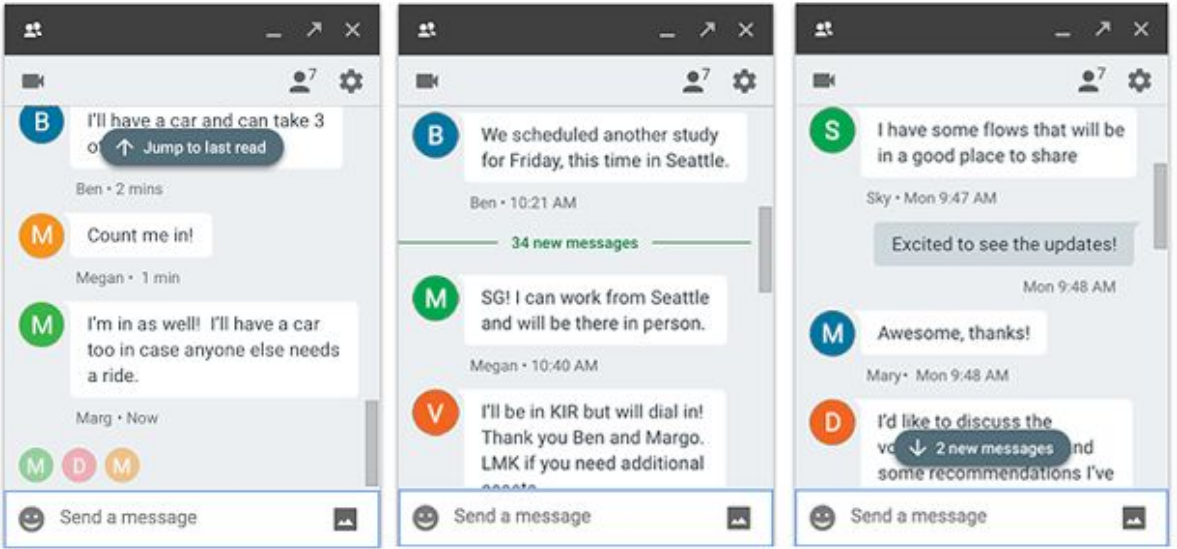
リリース日: 2017 年 2 月 27 日

組織で共有

- [トップへ戻る](#) -

最新情報: パソコンや Android 版* の Google ハングアウトを使っているとき、目的のチャットを効率的に探せるように、機能の改善が行われました。参加したチャットでたくさんのメッセージのやり取りが行われている場合、[最後に読んだメッセージにジャンプ] ボタンが表示されるようになります。このボタンをクリックすると、チャット内の最も古い未読メッセージに移動し、新着メッセージの件数を示すインジケータが表示されます。また、この新しい UI に合わせて、[# 件の新しいメッセージ] ボタンのデザインが新しくなりました。

次のスクリーンショットでご確認ください。



* この機能は、iOS 版のハングアウトではすでに提供されています。

ビジネス対応

管理対象に含まれないユーザー用の新しい移行ツールで、アカウントの競合を解決

リリース日: 2017 年 2 月 14 日

★ 管理者向けの機能

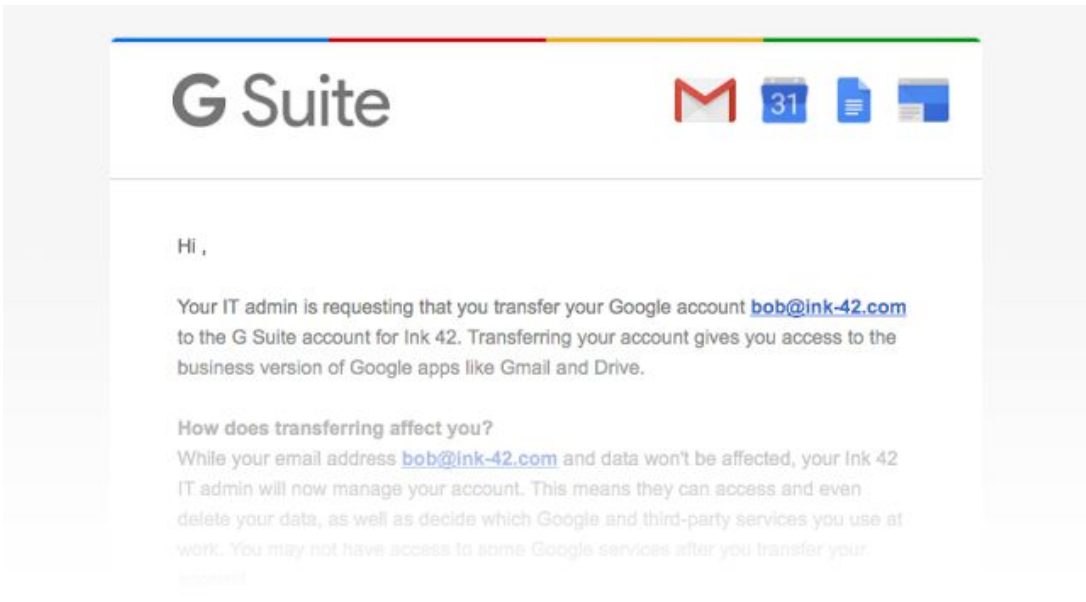
- [トップへ戻る](#) -

最新情報: G Suite に移行したばかりの組織には、以前に会社のドメイン名を使用して個人用 Google アカウントを設定した従業員がいる可能性があります。このたび導入されるツールにより、そういったアカウントが競合するアカウントになる前に、該当するアカウントを簡単に特定し、移行できるようになりました。

新しい管理対象に含まれないユーザー用の移行ツールを使用すると、メールアドレスが組織の G Suite のものと一致する個人用 Google アカウントをすべて表示することができます。ここで確認された個々のユーザーにメールを送信し、個人アカウントを G Suite アカウントに移行するよう依頼します。後で依頼の対応状況を確認し、必要に応じて依頼を取り下げること可能です。

Transfer tool for unmanaged users × 3 users				
Filters	User email	Not sent	Last synced	Number of invitations sent
By Status Not sent	☐ alice@ink-42.com	Not sent	Nov 3	0
	☒ bob@ink-42.com	Not sent	Nov 3	0
	☐ chris@ink-42.com	Not sent	Nov 3	0
	☐ david@ink-42.com	Not sent	Nov 3	0
	☐ edward@ink-42.com	Not sent	Nov 3	0
	☒ fred@ink-42.com	Not sent	Nov 3	0
	☒ george@ink-42.com	Not sent	Nov 3	0

従業員がアカウント移行の依頼を承諾した場合、管理者にユーザーデータへのアクセス権が付与され、そのアカウントを管理者が管理できるようになります。依頼が拒否または無視された場合、管理者がそのユーザー用に新しい G Suite アカウントを作成すると、そのユーザーには個人アカウントのメールアドレスの変更を求めるメッセージが表示されるようになります。この場合、個人アカウントのデータにアクセスしてそれを管理できるのは、その従業員のみです。



なお、この操作は手動で行う必要があります。複数のユーザーを対象とする依頼の送信、取り下げ、対応状況のデータのダウンロードを一度に行うことは可能ですが、API による一括処理は現在のところできません。

組織の管理者やエンドユーザーの皆様にとって、このツールが G Suite への円滑な移行のお役に立てば幸いです。

移行ツールについて詳しくは、[ヘルプセンター](#)をご覧ください。

カスタム テンプレートを管理するための新しい管理者権限（対象: Google ドキュメント、スプレッドシート、スライド、フォーム）

リリース日: 2017 年 2 月 15 日

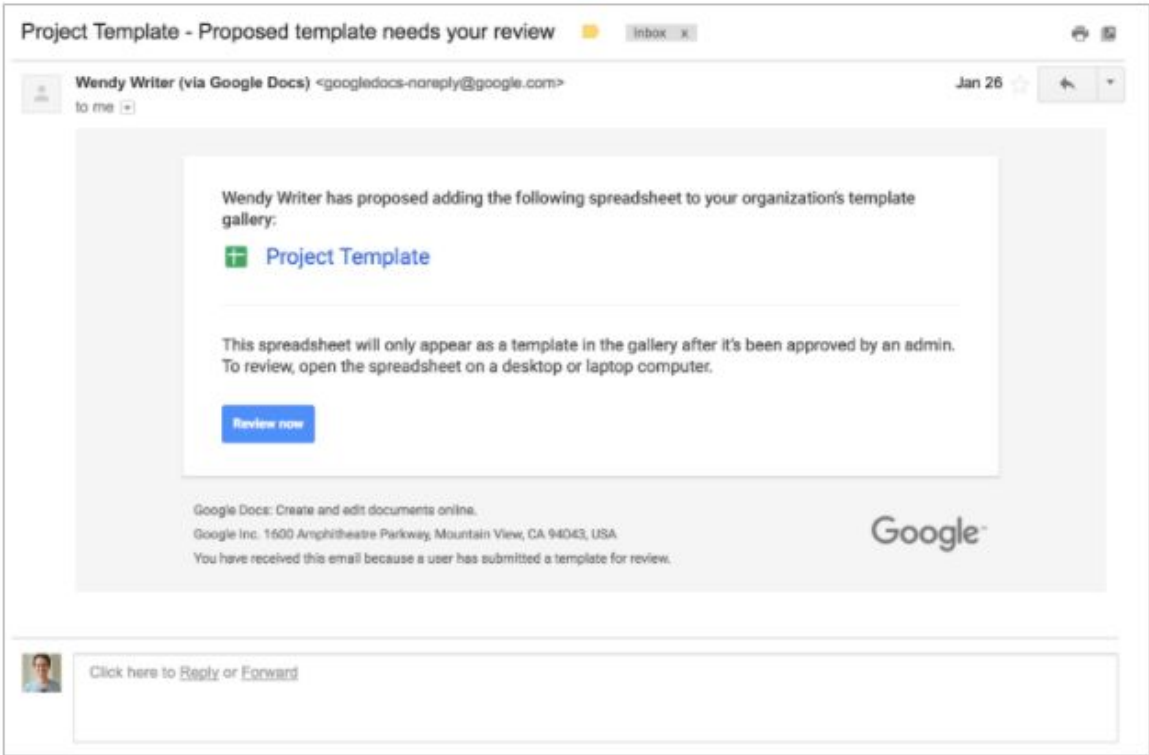
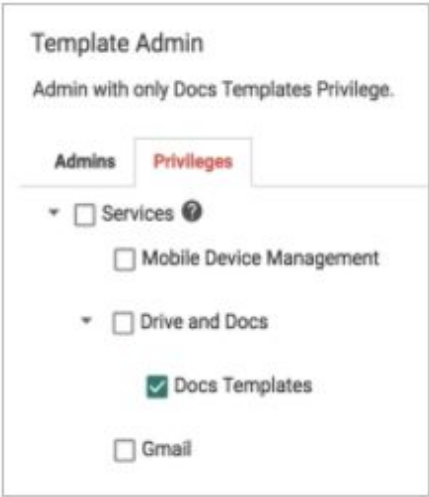
★ 管理者向けの機能

- [トップへ戻る](#) -

最新情報: 2016 年 11 月に、Google ドキュメント、スプレッドシート、スライド、フォームのカスタム テンプレートが導入されました。これにより、書式設定に要する時間を短縮し、チームでのブレインストーミング、共同作業、意見交換により多くの時間を割くことができるようになりました。また、G Suite Business、G Suite for Education、G Suite Enterprise をご利用の場合は、必要に応じて管理コンソールで次の設定を使用できるようになりました。

- **管理対象** - ユーザーが送信したテンプレートを「ドライブとドキュメント」の管理者権限を持つ管理者が承認する必要がある
- **制限付き** - 「ドライブとドキュメント」の管理者権限を持つ管理者のみが、テンプレートを送信できる

今後は、テンプレートを管理する管理者に対して、「ドライブとドキュメント」の完全な権限を設定する必要がなくなります。代わりに、新しい「ドキュメントのテンプレート」権限を管理者に付与することで、テンプレートの承認権限や管理コンソールでのテンプレートの設定変更を行う権限を与える一方、ドライブ、ドキュメント、スプレッドシート、スライド、フォームのその他の設定を変更する権限は与えないようにすることができます。なお、「ドライブとドキュメント」の完全な権限を持つ管理者は、これまでどおりテンプレートを管理できます。



この変更により、取り扱いに注意が必要な管理設定については従来の権限を守りながら、カスタム テンプ

レートを組織で柔軟に管理できるようになります。

「ドキュメントのテンプレート」権限の詳細とテンプレートを管理する手順については、下記のヘルプセンターの記事をご覧ください。

- [ヘルプセンター: 管理者権限の定義 - ドキュメントのテンプレート](#)
- [ヘルプセンター: ドキュメント、スプレッドシート、スライド、フォームのテンプレートを管理する](#)

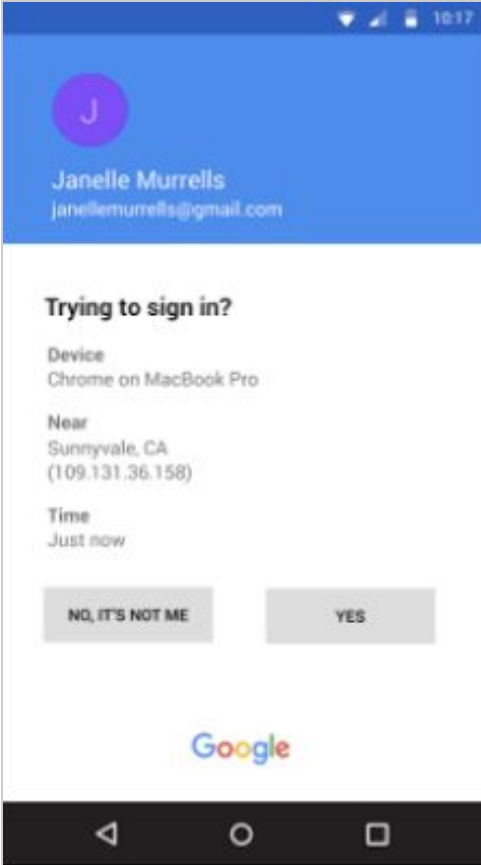
2 段階認証プロセスのスマートフォン プロンプトがより便利に

リリース日: 2017 年 2 月 22 日

 組織で共有

- [トップへ戻る](#) -

最新情報: 2016 年 6 月に、ユーザーがアカウントを保護するための方法の 1 つとして、2 段階認証プロセスのスマートフォン プロンプトについてご案内しました。今回のリリースにより、このプロンプトの受信を設定しているユーザーがログインするときに、画面に便利な情報が表示されるようになりました。たとえば、ログイン リクエストに関する詳細情報（リクエストが行われた日時と場所）が表示される場合があります。このようなプロンプト画面のお知らせ表示は、Android 搭載端末と iOS 端末の両方に対応しています。



[2 段階認証プロセスのスマートフォン プロンプト](#)について詳しくは、ヘルプセンターをご覧ください。

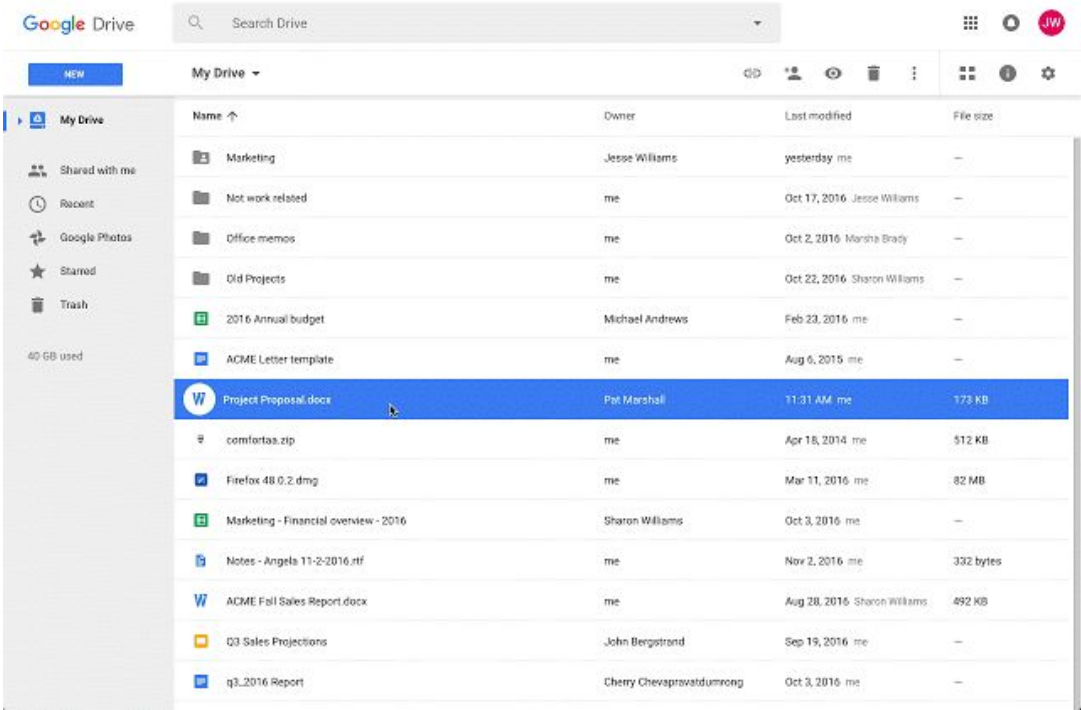
パスワードで保護されたファイルを Google ドライブでプレビュー

リリース日: 2017 年 2 月 23 日

組織で共有

- [トップへ戻る](#) -

最新情報: Google ドライブにはさまざまな形式のファイルが保管されています。そこで今回のリリースでは、パスワードで保護された Microsoft Office ドキュメント、プレゼンテーション、スプレッドシートをドライブでプレビューできるようになりました。



これらの形式のファイルをウェブ版のドライブで開こうとすると、パスワードの入力を求められます。パスワードを正しく入力すると、そのドキュメントが読み取り専用でプレビューされます。

Gmail の添付ファイルとして届いた、パスワードで保護された Office ファイルを開く場合にも機能します。

Google Keep が G Suite のコアサービスに加わり、管理コンソールからの管理と Google ドキュメントからのアクセスが可能に

リリース日: 2017 年 2 月 28 日

組織で共有

- [トップへ戻る](#) -

最新情報: G Suite ユーザーの皆様へ 2013 年以来 Google ドライブでご利用いただいている Google Keep は、考えたことや思いついたこと、やるべきことなどを 1 つのアクセスしやすい場所にまとめることができる便利なツールです。今回のリリースにより、ドメイン内で使用する G Suite のコアサービスに Google Keep が加わりました。大部分のお客様については Google Keep も既存の G Suite 契約の対象になります。また、Google ドキュメントから Keep にアクセスできるようになったことで、より簡単にメモを確認したり、再度同じメモを使ったりできるようになります。

G Suite コアサービス

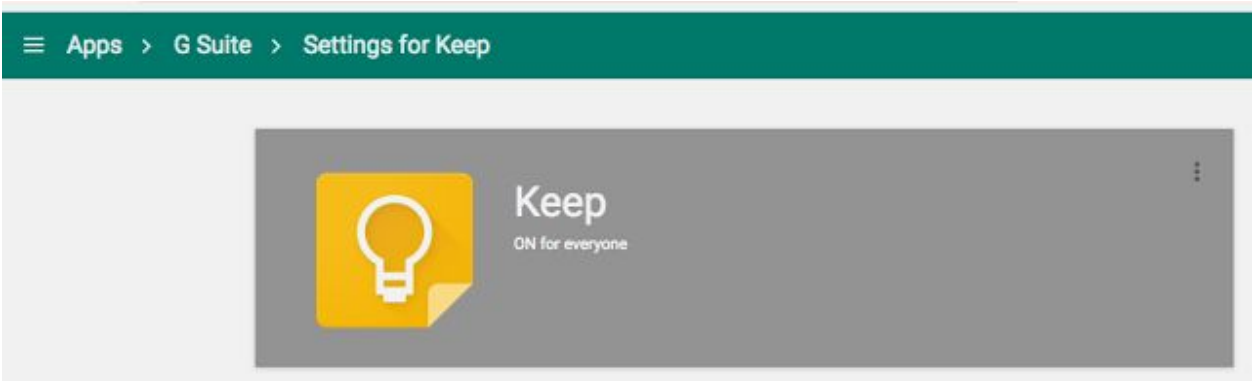
Keep には、Gmail や Google ドライブなどの他の コアサービス と同等の技術サポートおよびサービスレベル契約が適用されます。今後、Keep をドメインで利用される際には、次の点が変更になります。

- Keep のコンテンツは G Suite 契約に基づいて取り扱われます。
- Keep は G Suite 技術サポート サービス ガイドライン および G Suite サービスレベル契約 に記載された利用規約とサービスレベルに準拠します。
- Keep は G Suite ステータス ダッシュボード の管理対象サービスに追加されます。

追加の管理機能

さらに、G Suite 管理者はドメインの Keep の有効と無効を切り替えることができ、組織における Keep の使用を詳細に管理できます。これを行う手順は、組織の Google ドライブの現在の使用状況によって異なります。次に例を示します。

1. Google ドライブを有効にしている組織のユーザーは、すでに Keep にアクセスできており、今後も引き続きアクセスできます。Keep へのアクセスを無効にする操作を、管理コンソール（**[アプリ]** > **[G Suite]** > **[Keep]**）から行えるようになりました。
2. ドライブを有効にしていない組織のユーザーは、Keep にアクセスできませんでした。今後ドライブを有効にすることを選択すれば、管理コンソールで新しいサービスを自動的に有効にする設定にしていた場合は Keep が組織で有効になり、新しいサービスを手動で有効にする設定にしていた場合は無効になります。有効と無効の切り替えは、管理コンソールからいつでも行えます。

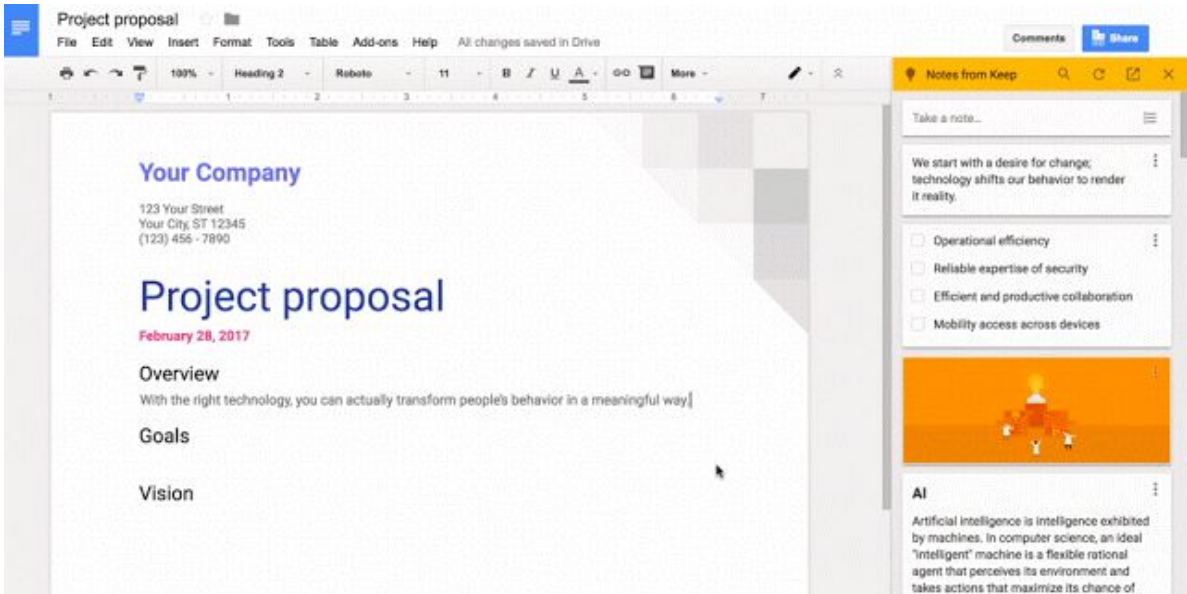


有効にすると、Google ドライブに適用される 共有設定の一部が Keep に適用されます。

ドキュメントで Keep のメモを表示、作成する

管理機能以外の改善点として、エンドユーザーはウェブ上の Google ドキュメントで Keep のメモを表示、作成できるようになりました。本日より、[ツール] メニューの [Keep メモ帳] を選択すると、サイドバーに Keep のメモとその検索オプションが表示されます。そこからメモを編集したり、ドキュメントにドラッグ & ドロップしたりすることができます。

ドキュメント内のコンテンツから思いついたことがある場合は、該当するテキストをハイライト表示して右クリックし、[Keep メモ帳に保存] を選択することで、新しいメモを作成できます。また、まったく新しいコンテンツのメモを新規作成するには、メモ帳の [メモを入力] ボックスに入力します。ドキュメント内で作成したすべてのメモが、サイドバーの [関連] の下に追加されます。Keep でこれらのメモを表示すると、作成元のドキュメントへのリンクも表示されます。



詳しくは、下記のヘルプセンターをご覧ください。

- G Suite ラーニング センター: Keep（英語）
- ヘルプセンター: Keep スタートガイド
- ヘルプセンター: ユーザー向けに Google Keep を有効または無効にする
- ヘルプセンター: Keep の共有オプションの設定
- ヘルプセンター: Google Keep をドキュメント内で使用する

古い Android 搭載端末をご使用の場合も、Google Play からビジネスツールへのアクセスが可能に

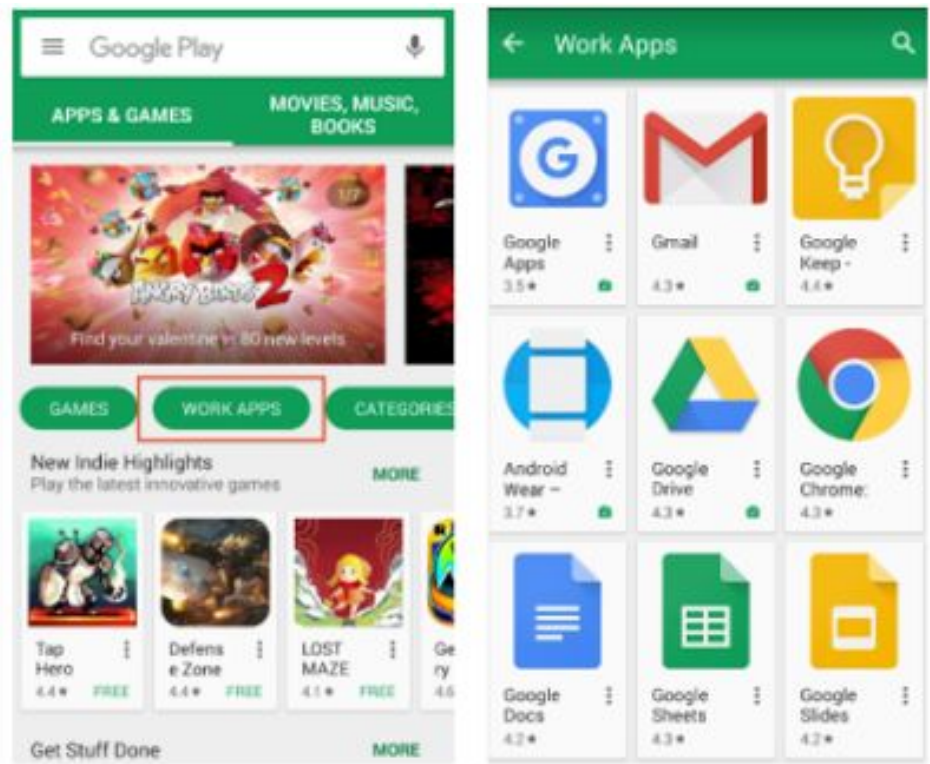
リリース日: 2017 年 2 月 28 日

組織で共有

[- トップへ戻る -](#)

最新情報: 今年初めに、組織の限定公開アプリの表示場所が、「プライベート チャンネル」 ([企業名] タブ) から Google Play ストアの [ビジネスツール] タブに移動されることをお知らせいたしました。ユーザーは、この [ビジネスツール] タブ 1 か所から、モバイル端末での生産性を高めるために必要なあらゆるアプリを見つけることができます。また G Suite 管理者は、[Google モバイル管理](#) (英語) を使用することで、Google Play の [ビジネスツール] から一般公開アプリとカスタムアプリの両方を従業員に提供できます。

これまでは、従業員の使う Android 搭載端末が 仕事用プロフィール をサポートしていない場合、[ビジネスツール] タブや管理者が選んだアプリが表示されませんでした。Android 5.0 Lollipop 以前の搭載端末がこれに該当します。今後は、このような古いタイプの端末をご使用の場合でも、個人用プロフィールで Google Play の [ビジネスツール] タブにアクセスし、管理者が選んだアプリを表示させることができます。



なお、仕事用プロフィールがサポートされている端末では、仕事用プロフィールでのみ、Google Play から [ビジネスツール] タブにアクセスできます。

詳しくは、下記のヘルプセンターをご覧ください。

- [ヘルプセンター: Google Play の限定公開アプリの管理](#)
- [ヘルプセンター: 限定公開アプリを公開する](#)
- [ヘルプセンター: モバイル端末のアプリを管理する](#)

G Suite についてのその他のお知らせ

Transformation Gallery で業務処理を自動化するヒントを探す

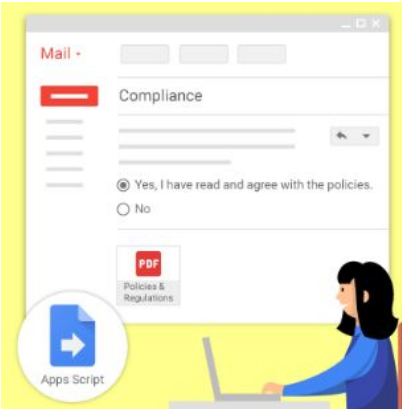
 組織で共有

- [トップへ戻る](#) -

業務処理の自動化

2 月より、Transformation Gallery チームによる新しいブログシリーズ、[G Suite の仕事術](#)（英語）が始まりました。このブログでは、さまざまな業務処理を自動化するヒントをご紹介します。フォーム、Apps Script、スプレッドシートなどのツールを駆使することで、従業員のコンプライアンス管理や休暇申請などの日常の業務を効率的に行えます。

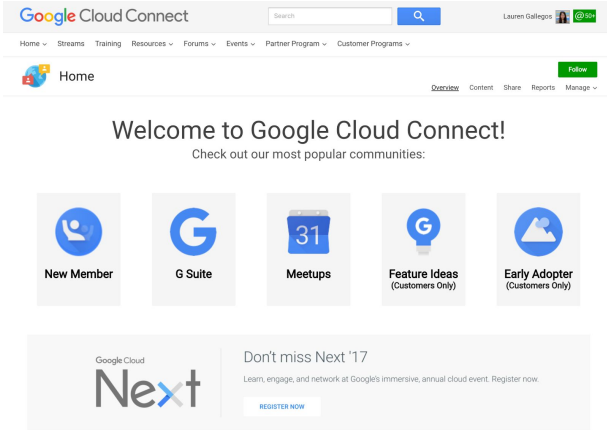
[Transformation Gallery](#)（英語）をぜひブックマークにご登録いただき、さまざまな業界や職務での活用事例をご確認ください。



Google Cloud Connect（GCC）: G Suite 管理者のための公式コミュニティ

 管理者向けリソース

- [トップへ戻る](#) -



今すぐログイン: Google Cloud Connect（GCC）（旧 Google for Work Connect）には、G Suite で仕事をより進めやすくするためのあらゆるリソースが揃っています。[今すぐログイン](#)して、おすすめの G Suite 使用法についてのディスカッションや質疑応答を通して他の企業の IT 管理者や Google 社員との情報交換を始めましょう。ぜひご活用ください。[コミュニティ マネージャーの Lauren Gallegos をフォロー](#)すると、最新情報を毎週入手できます。

最新情報: 2 月は引き続き 2017 年の編集カレンダーに沿って、[休暇申請プロセスを自動化する方法](#)や初公開: [クラウドのロケーション地図](#)（ともに英語）などの情報が追加されました。

また、Kim Wylie による「チェンジ マネジメント」シリーズでは、「[G Suite の導入に向けた Google のチェンジ マネジメント モデル](#)」と「[G Suite の導入でチームの業績を上げる](#)」（ともに英語）についての記事が紹介されました。3 月も、Google Cloud サービスのさらなる活用例をご紹介します予定です。

G Suite Show を YouTube で毎週火曜日午前 11 時（米国太平洋標準時）に公開

 組織で共有

- トップへ戻る -

シーズン 10 の折り返し地点

G Suite Show では、個別学習、スタイラスペンとワールド フェイシング カメラを備えた最新の Chromebook、管理コンソールのレポートの新機能を中心に、Google Classroom のエピソードをご紹介しました。このエピソードは、[こちら](#)からご覧ください。

Lily と Jimmy からは、受信トレイをうまく管理するための [Gmail の活用例](#)について紹介がありました。活用例では、ラベル、フィルタ、統合された検索機能、カレンダーに予定を直接追加する機能が取り上げられました。

外出先で会議の予定を組まなくてはならないときでも、新たにリリースされたモバイル向けの「時間を探す」機能を使えば安心です。これは、ユーザーとゲストのカレンダーをそれぞれスキャンして、直近で最も都合のよい時間を探す機能です。Jimmy と Drea からは、このカレンダーの新機能について[紹介](#)がありました。

また、Drea と Jenny からは Google サイトとドライブを使用してビジネス向けの[仮想トレーニング ハブ](#)を作成する方法について説明がありました。これは、[Transformation Gallery](#)（英語）のなかでも人気の高い事例です。



See what's new with Google Classroom



Quickly and easily create a virtual training hub

G Suite 管理者向けの最新情報の動画

 管理者向けリソース

- トップへ戻る -



最新情報: G Suite 管理者向けの最新情報の動画では、前月にリリースした G Suite 管理者向けのすべての機能をまとめて紹介しています。これらの動画はいつでもご覧いただけ、共有も可能です。

使い方: [YouTube の再生リスト](#)をブックマークに登録し、毎月の新着動画をチェックします。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。
より良いニュースレターをお届けするために、ぜひ皆様のご意見をお寄せください。